

第6日

令和8年3月2日（月）

午後3時15分再開

○議長（小島清人君） 休憩前に引き続き会議を開き、一般質問を続行いたします。

次に、14番柴山恭子議員の質問を許可します。14番柴山恭子議員。

（14番柴山恭子君登壇）

○14番（柴山恭子君） 皆様、こんにちは。格調高くはいきませんが、私なりの一般質問をさせていただきます。

12月の開会のときに、実は、私はアメリカに行きたいと思っておりました。ばたばた帰ってきて、一般質問に間に合わせようかなといういろいろ考えたのですが、やっぱりどうもうまくいかなくて、その折にあった話をしたいと思います。

去年の12月5日、ニューヨークのジャパン・ソサエティーにおいて、能の「綾鼓」が上演されました。今回披露されたのは、アメリカで高い人気を持つ三島由紀夫による現代版であり、会場を埋め尽くした多くの観客に深い感動を与えたと同っております。

「綾鼓」は、桂の池や木の丸殿を舞台とする物語であり、そのゆかりの地とされる朝倉は、歴史と文化の薫り高い地域であります。

また、百人一首の第一首にも読まれているように、我が国の伝統文化の中でも貴重な位置を占めております。

このような誇るべき文化資産を有する朝倉市のまちづくりを次世代に継承しながら着実に進めていくことが、私たちの責務であります。若者も高齢者も共に誇りを持ち、力を発揮できる、そんなまちを目指して取り組んでまいりたいのです。

以後、自席におきまして、朝倉市の魅力向上に向けた具体的な施策として、甘木公園、けやき通りの活性化についての質問をいたします。どうぞよろしくお願いいたします。

（14番柴山恭子君降壇）

○議長（小島清人君） 14番柴山恭子議員。

○14番（柴山恭子君） 朝倉市が選ばれるまちづくりは、どんなまちづくりをすれば朝倉市は選ばれるのか、今後、活性化に向けて何をすればいいのかというのをずーっと思っておりましたので、質問をさせていただきます。

まずは、甘木駅から新庁舎のまちづくり。

この新庁舎ができて、まちづくりがごろっと変わりますので、それについて伺います。

○議長（小島清人君） 都市建設部長。

○都市建設部長（井上政司君） 新庁舎に移転しまして、甘木駅周辺も国道322号線、こちらの道路事業が今、進もうとしております。

その中で、市としましても、その周辺の甘木駅周辺、それから新庁舎の、この2つの拠

点を、新しいまちづくりの2つの拠点として大いに活用していきたいと。

どういったことかと申しますと、この2つの拠点をつなぐ道路、そこににぎわいが出ます。そういったまちづくりをやっていきたい。そうすることによって、各2つの拠点そういった周辺にも今後、事業所が進出されたり、いろんな商店等が出てきたりとかで、にぎわいも出てくるのではなかろうかというところを期待しております。

また、そういったにぎわいが出てくるように、市としても何らかの方策を考えていきたいということでございます。

また、こうすることで、今現在の商店街、中心市街地、そちらにも波及効果が及ぶことで、この周辺全体のにぎわいを取り戻していきたいと、また、そうすることによってこの周辺への定住人口の増加あるいは関係人口の増加と、そういったものにつながるような、そういったまちづくりを目指していきたいというものでございます。

○議長（小島清人君） 14番柴山議員。

○14番（柴山恭子君） 確かに、こげん私は聞いちゃいました。「新庁舎の完成により、行政拠点・防災拠点としての機能強化が図られます」と。ですね。ですか。

○議長（小島清人君） 都市建設部長。

○都市建設部長（井上政司君） はい、確かにそういったところは、今後見込まれるというふうに思っております。

○議長（小島清人君） 14番柴山議員。

○14番（柴山恭子君） 前回の質問に、駅前の混雑や危険箇所の改善について具体的な対策とスケジュール、対策をうちゅうのはありましたよね。駅前のあの信号がえらい混雑するけん、あそこは何とかせないかんうちゅう質問を、私は、駅前の混雑や危険箇所があるとは今後どうしていくのかうちゅうのに質問しましたが。

○議長（小島清人君） 都市建設部長。

○都市建設部長（井上政司君） おっしゃってあるのが、恐らく甘木駅の周辺のところの、歩車道分離信号であったり、その周辺のことだと思っています。

これにつきましても、今、福岡県のほうで進めております国道322号の道路事業、甘木バイパスという区間になりますけれども、その整備が進むことによって、改善が期待できるのではないかなというふうにも思っているところです。

○議長（小島清人君） 14番柴山議員。

○14番（柴山恭子君） そうですね、ここを住みやすいまちづくりにするためには、いろんなことをやっていかなければならないと思いますのが、今後10年先、この庁舎を中心に、災害時の避難とか、情報発信とか、支援体制の整備とか、機能や暮らしや空間について、どのように考えてありますか。

○議長（小島清人君） 都市建設部長。

○都市建設部長（井上政司君） この周辺の機能や暮らしの空間ということですが、

この周辺にはいろんな可能性があるんだろうというふうに思っております。現時点では、事業所が少なくなって空き店舗であったり、空き地が多く見られるようになってきています。

しかし、これらを活用することで、逆に、また今から、この辺のまちづくりというものに取り組んでいけると。

そういった意味では、ハード事業も必要ですけれども、やはり、人材を育てるといった、そういったソフト面が今後、求められてくるのかなというふうに思っているところです。

○議長（小島清人君） 14番柴山議員。

○14番（柴山恭子君） 何でこんな質問をしたかといいますとね、旧甘木市の中は、突き当りの道路ばかりです。いろいろなことで、どうしてこんなふうになっとかは分かりませんが、これから先10年に向けて、もっと暮らしやすいような、もっと動きやすい道路を計画することはとても大事なことでと思いますので、ちょっと、このことを、選ばれるまちづくりについての質問に当たって、甘木駅から庁舎間をどういうふうにして活性化をしようと思っているのかを尋ねてみたかったので、今後やっぱり、ずっと考えていってほしいと思います。それが、この朝倉の発展につながると思いますので。

次からは、庁舎が変わりました。旧庁舎。それで、それによって、やっぱり人の流れも少なくなった。けやき通りから庁舎に行く人は少なくなりましたし、だから、甘木公園とか、けやき通り付近のまちづくりを、どんなふうを考えてあるのかをお尋ねいたします。

○議長（小島清人君） 都市建設部長。

○都市建設部長（井上政司君） このことにつきましては、昨年、令和7年6月の定例会での12番議員の一般質問の回答と一部重複いたしますけれども、旧本庁舎、甘木公園、そして、けやき通り、この沿線の用途地域につきましては、第一種住居地域及び第一種低層住居専用地域というものに指定されておまして、良好な住環境の保全と居住の誘導を図る地域として位置づけをしておるところでございます。

また、今後、延伸します、けやき通り沿線のエリアにつきましては、現時点で用途地域の指定はございませんけれども、周辺には住宅が立ち並んでいることから、既存のけやき通り沿線と同様に、住宅地として一体的に開発される可能性が高いというふうに考えているところでございます。

当該地域全体が居住しやすい良好な住宅地として形成されることを期待しております。

このような中で、甘木公園であったり、太平山周辺までを含めた広域的なまちづくりを検討する際でございますけれども、やはり、歩いて楽しめる回遊エリアとしての位置づけを持たせることが重要ではなかろうかというふうに思っているところでございます。

特に、けやき通りは、歩道も広く、植栽や街路の更新によりまして、にぎわいを生みやすいポテンシャルを備えているというふうに思っております。

また、甘木公園は、桜をはじめとした四季折々の花や豊かな自然環境が魅力的でござい

ます。健康づくりやレクリエーションの拠点として、散策やウォーキングを楽しめる空間となっております。

さらに、大平山周辺は、眺望や登山などの自然資源が豊富な地域でもございます。

これらのエリアを一体的に捉えまして、相互の回遊を促進することは、まちづくりの一つの考えではないかというふうに思われると思っております。

○議長（小島清人君） 14番柴山議員。

○14番（柴山恭子君） どのように改良しようと思われませんか。

○議長（小島清人君） 都市建設部長。

○都市建設部長（井上政司君） やはり、まちづくりを行うには、その地域の住民の方の思いを酌み取りながら、きちんと意見を吸い上げながらやっていく必要があります。

今現在そういった形で、今後どのように議論しながら進めていくのかというところまでは持ち合わせておりませんが、そういった住民の方の意見を参考にしながらやっていく必要があるというふうには思っているところでございます。

○議長（小島清人君） 14番柴山議員。

○14番（柴山恭子君） けやき通りは都市計画道路ですかね、都市計画道路の意味をお願いいたします。

○議長（小島清人君） 都市建設部長。

○都市建設部長（井上政司君） 都市計画道路といいますのは、その都市の骨格となる街路ということで位置づけられております。

また、いろんな社会状況ですとかいろんな状況が変化しますので、その時々状況に応じて都市計画道路の見直しも行いながら、まちづくりに資するような道路整備を行うものというふうに認識しております。

○議長（小島清人君） 14番柴山議員。

○14番（柴山恭子君） そうですね、新庁舎に移ったことで旧庁舎に行く人の流れも少なくなり、行政施設も全てこっちのほうに移転すると思われませんか。そうすると、空き地も増えます。

その中で何が言いたいかというと、住民の意見を聞くこともえらい大事だけれど、「行政としてはこんなまちづくりがしたいんだよ」っち、「こんな住みよいまちにしたい」っち、そういうふうなことが必要だと思いますが、部長は、どんなけやき通り、どんな甘木公園、そういうふうな望みがありますか。

○議長（小島清人君） 都市建設部長。

○都市建設部長（井上政司君） そうですね……。先ほどからも言っていますように、けやき通り、これはやっぱり、一つの大きなシンボルになる都市計画街路だというふうに思っています。

やはり、これを生かした、先ほども申しましたように、広い歩道それから美しい街路樹

というものがございます。そういったことを最大限利用しながら、その沿線に、またにぎわいが出るような、歩いて楽しくなるような、そういったまちづくりになればというふうに思っているところです。

○議長（小島清人君） 14番柴山議員。

○14番（柴山恭子君） まさに私の望むところです。

ただし、ケヤキや、アメリカフウのような、大きく育つ街路樹の役目は、日陰もつくり、夏の暑さも和らげる。それで、ケヤキの初夏の青葉の美しさやアメリカフウの紅葉の美しさは、季節の変化も感じさせ、すばらしいものがあります。そして、まちのシンボルともなっております。けやき通りっちゅう名前がつくぐらいだから、まちのシンボルにもなっとる。

でも、根が、なぜか地下に行かず上に上がって行って、根が浅くて歩道を押し上げる。そうすると、歩行者や自転車の通行に非常に、障害を持つ方の車椅子は非常に不便だと言われております。

また、アメリカフウは御存じかどうか知らないけれど、実がえらい硬いんですよ。だから、それに足を引っかけて、くりーんとなって倒れる。

または、落ち葉対策の苦情などの課題も出ております。ただ、落ち葉が落ちるけん、それを掃除せないかんっちゅうそれだけではなくて、あの落ち葉が、といに入らなっちゅうことです。といに入らな落ち葉は、なかなか掃除が難しいというような、住民からの意見を聞いております。

それで、その住民たちの苦情を聞いて、行政としては強剪定が繰り返されております。だけん、強剪定をするっちゅうことは、ケヤキのきれいな枝ぶり、ケヤキの剪定して、枝と枝の間を風が通るような爽やかなものがなくなって、何か、ぼこっ、ぼこっとした、けやき通りになっておりますし、そんだけ木の形が乱れて、アメリカフウもそうですよ、あんまり強剪定するもんやけん、去年の秋は全然美しくなかった。あのすばらしい美しさなかった。

もう一つは、その景観の損失だけではなく、毎年毎年、あげんぶつぶつ幾つかずつ切っていけないかんなら、予算面でもとても効率的とは言えんと思うんですが、けやき通りの樹木の保全や歩道の在り方、照明などについても、お尋ねいたします。

○議長（小島清人君） 都市建設部長。

○都市建設部長（井上政司君） けやき通りでございますが、議員おっしゃいましたように、沿道に植栽されたケヤキ、夏には枝葉が良好な木陰をつくりまして、歩行者に快適性を提供しております。また、新緑の季節には憩いと安らぎを与えるなど、景観形成に大きく寄与していることも、市としても認識をしております。

一方で、議員おっしゃいましたように、ケヤキは大木化しやすいという特性がございます。また、根が浅く広がるという特性もあることから、沿線住民に対して、落ち葉処理や

毛虫の発生による不快感を与えているほか、根が歩道の舗装を持ち上げまして、通学児童や視覚障害者の方、車椅子利用者を含む歩行者にとって、危険な段差を生じさせております。また、側溝であったり、溜桝へ根が侵入しまして、道路排水にも支障を来す事例も見受けられます。

ただ、これらの状況は、本市に限らず全国の自治体でも同様の課題が発生しておりまして、特に樹木の根が舗装を持ち上げることへの対処が大きな行政課題というふうになっております。

現在、実施しております強剪定についてですが、御指摘のとおり景観を損なうというふうな指摘がございます。また、数年ごとに再度の強剪定を要するため、人件費の高騰も相まりまして、管理費が増加傾向となっております。

また、強剪定につきましては、樹木を衰弱させまして、長期的には倒木リスクを高めることも指摘されておりまして、持続可能な管理手法とは言い難いというふうな状況もございます。

先ほどから言っております、けやき通りを歩きたくなるような通りというふうな実現をするためには、まず、やはり、歩行者が安全で快適に歩ける道路環境の整備というものが不可欠でございます。

このためには、やはり、街路樹の役割を評価しつつも、現状のケヤキが抱える課題に応じた適切な対策を検討する必要があるがございます。

街路樹の根が歩道を持ち上げている箇所については、ほかの自治体の事例も参考としながら適切な整備を進めていきたいと考えておりますし、加えて、将来を見据えた維持管理の在り方を検討する中で、この根の処理だけではなくて、樹勢の衰えた個体や加密箇所などについては、植え替えや伐採も選択肢として検討する必要があるのではなかろうかというふうに考えております。

既存の街路樹を一律に撤去するというものではなくて、やはりシンボリックな存在でもありますので、地域環境への影響ですとか景観上の役割を慎重に考えながら、地元住民との丁寧な合意形成というものを目指していきたいというふうに思っているところです。以上です。

○議長（小島清人君） 14番柴山議員。

○14番（柴山恭子君） 御存じかどうか分かりませんが、あの根を何とかして歩きやすくするために根を切つとる。どう考えても、あの木が倒れるときは、歩道側じゃなくて車道側に倒れますよ。そこら辺は御存じですか。

○議長（小島清人君） 都市建設部長。

○都市建設部長（井上政司君） 対応策で一部の根を取るっていうのはあるみたいですけども、やはり、おっしゃいますように、そうすると樹木が弱ってしまうと、行く行くは倒木につながるということがございますので、根の処理については、根を除去するという

ことだけでなく、根が上に上がらないような対応策っていうのも、ほかの自治体でやっているところもあるみたいですので、そういったことも検討の一つになるのかなというふうには思っております。

○議長（小島清人君） 14番柴山議員。

○14番（柴山恭子君） 東京に行きましたときのあそこのケヤキは根が浮き上がっていないですよ。ということは何か仕事下手。違いますか。

○議長（小島清人君） 都市建設部長。

○都市建設部長（井上政司君） 仕事下手というより、以前はやっぱり今のような植樹が一般的であったんだと思いますけれども、こういった根の浮き上がりというのが社会問題化してきていろんな研究が進んで、そうならないような植樹の仕方というのも出てきて改善されているというところもあるのではなかろうかと思っています。

○議長（小島清人君） 14番柴山議員。

○14番（柴山恭子君） ではなくて何か考えが足りない。こうなることは大体もしかしたら分かっていたかもしれない。それでもそれほど今回のように問題になるということはありません。あまり思わなかったのかと思います。

ケヤキ並木がきれいだなと思う京都や東京は剪定がきれいですばらしいケヤキですが、根っこは朝倉市のようにぼこぼこ出ておりませんので、何かやっぱり違うのだと私は思っております。

もう一つ聞きたいのは、なぜ排水を歩道の向こう側にしたかということです。部長もおっしゃるように、排水が向こうにあるために道から排水溝を通して向こうまで行くのに、その管の中にケヤキの根がじっくり詰まって、ちょっと掃除しましたがとても素人の手ではできませんが、あの計画は大体何だったんですかね。

○議長（小島清人君） 都市建設部長。

○都市建設部長（井上政司君） その当時の道路の構造ですけれども、いろんな道路を造る上で道路法に基づく道路構造令とか、そういったものも年々変わってきております。その当時はそういった歩道の造りだったのかなとは思いますが、やはりそこは改善すべきところはやっぱり新しく道路を造る上で改善していくべきだというふうに思います。

○議長（小島清人君） 14番柴山議員。

○14番（柴山恭子君） 私は最初の計画とか、10年後どういうまちづくりにするのと聞いたではありませんか。だからいろいろなことを考えて、こういうふうな、こういうふうな、こういうふうなまちづくりに持っていこうやという話をしっかりすべきと思うんですよ。次から次に課題が出るような、そんなまちづくりはあんまりよろしくないと思いますので、その辺りはよろしく願います。

次に、けやき通り沿いに若者が集うカフェや美容スポットの創出は考えられないかというのをを出していたと思います。

けやき通りが今からもっと向こうまで行くと、すっとしたすてきな、ケヤキもすてき、ケヤキはあまり今はすてきではないけれど、あそこを歩きたくなるやら、あそこに行きたいね、散歩がしたいね、わくわくするねというふうな町はどうやったらつくれると思いますか。

○議長（小島清人君） 都市建設部長。

○都市建設部長（井上政司君） まちづくりにつきましては、やはり行政だけで行えるものではないのかなと思っています。やはりそこに住んでおられる地域住民の方、そういった官と民との連携というのが非常に重要だというふうなところを考えております。

そういった意味で、今現在、市のほうで取り組んでおりますことがございますのでちょっと紹介をさせていただきたいと思います。

現在、市のほうでは令和7年2月に甘木駅周辺整備基本構想というものを作成しました。これは、にぎわいの創出を重要な課題として取り組んでいこうというようなものでございますけれども、これに併せまして令和7年度からまちづくり学校というものを行っております。

これはどういうことかと言いますと、やはり持続するにぎわいあるまちづくりをするには人材発掘と育成が重要だということから、まちづくりの専門のアドバイザーを講師としてまちづくりへの関わり方や取り組み方等を学んでいただいております。

朝倉の町をもっと面白くしたいと、そのためには何かを考えたい、行動したいという思いを持った方に集まっていただきまして、町なかにある様々な隙間、これは空間であったり時間であったり、そういった分野等の隙間の活用について、この方々たちで企画、検討しながら町が魅力ある地域となるような活動を今現在しております。

何か始めたいけれども、その次の一步を踏み出すにはどうすればいいのかというのが分からないと思っていられる方が結構おられるということでございますので、このような方々をサポートすることでまちづくりの中心として今後やっていただけると、こういった人材育成を今しているところでございます。

こういったことで、これがけやき通りといったところの空き店舗であったり空き地であったり、いろんな人々でこういうこともけやき通りでやってみたいというふうな、そういった人が出てくれば、またそういった市と民間の方で何かをやりたいという方と協力しながら、一緒にまちづくりが進めていければというふうに思っているところです。

○議長（小島清人君） 14番柴山議員。

○14番（柴山恭子君） その話を聞いたら、甘木駅周辺整備の話合いがあったが、大学生を呼んだり、何かああいうことですか。

○議長（小島清人君） 都市建設部長。

○都市建設部長（井上政司君） あれは甘木駅の周辺をどう整備していくかという基本構想を策定するためにワークショップであったり、いろんな地域住民の方の意見を聞きなが

ら基本構想に反映させたというものでございます。

今回のまちづくり学校というのは、市内外の方に呼びかけまして、そういった朝倉市の町なかで何かしたいと、にぎわいを創出したいと考えていらっしゃる方々に集まっていたきまして、いろんなイベントであったり、そういった今後のまちづくりをどう進めていくべきかというふうな講話をしたりとか、そういったことで今後の人材育成をしようというふうな取組でございます。

○議長（小島清人君） 14番柴山議員。

○14番（柴山恭子君） 内外のどんな人に声をかけたのか。

○議長（小島清人君） 都市建設部長。

○都市建設部長（井上政司君） 一般の公募で朝倉の町なかをもっと面白くしたい方々を募集しますというふうなことでお声かけをしまして、今現在20名の方が集まって来ていただいているところでございます。

○議長（小島清人君） 14番柴山議員。

○14番（柴山恭子君） その20名はどんな、個人情報はいいですよ、どんなふうなまちづくりがしたいと言われておりましたか。

○議長（小島清人君） 都市政策課長。

○都市政策課長（末兼一憲君） どのようなまちづくりというか、何かショップをしたいとか、空地を違った空間で、市街地の空地の使い方であるとかといった思いがあられる方でございます。中にはカフェをしたいであるとか、いろんなアートの展示をしたいとか、そういった思いがあられる方でございます。以上でございます。

○議長（小島清人君） 14番柴山議員。

○14番（柴山恭子君） 朝倉東高校の子どもたちのアンケートなんですけれど、あなたたちは大体講演で何が聞きたいかというアンケートがあった。一番多かったのが美容なんですよ。肌のケア、美顔、それから美肌、基礎知識、東高校は商業学校ですので私は進路とか金融の金もうけとか、健康などのような情報を望んでいるかと思ったら美容だったんですよ。

それで、よくよくあの人この人に聞いてみると、高校生に限らず高齢者や子育て世代、男女を問わずにこの美容ということに関心があるようなんですよね。美容で何かしたらいいのではないかなとそのときにふと思ったんですけれど、その募集の人たちの中でそういう話は出ましたか。

○議長（小島清人君） 都市政策課長。

○都市政策課長（末兼一憲君） 美容に関する件は、特にはメンバーの中には意見はございませんでした。糸かけアートであったり、そういったものをどこかでしたいという方はおられました。以上でございます。

○議長（小島清人君） 14番柴山議員。

○14番（柴山恭子君） 糸かけアートは細い糸できれいにアートを作ったあれですよ。私の情報によると非常に多いんですよ。例えば、こういう言い方は悪いかな、すごく生活が苦しいですよと言いながらすてきな爪をしてある。すてきな爪をしたいとか、何かやっぱりすごく興味がある。それは高校生に限らず、ばあちゃんでもです。高齢者。それから若い男性もそういうふうな傾向にあるような気がしましたので、私は今まで市民祭りもしておりますし、コミュニティで文化祭とかもいろいろするではないですか。その中で専門学校と連携しながらイベントやいろいろな講座をその中で開いてはどうかとちょっと思ったんですよ。

もしかしたら美容の先進地と朝倉市が呼ばれれば、非常に人が寄ってくるのではないかなと私は思っております。すごく技術力がある人もない人もおるでしょうが、そういう人たち、何か知らないけど頭とかをする人はそこに家を建ててそこのところで開店するんですよ。そうすると若い人たちの人口増加にもつながるのではないかなと、関係人口だけではなくて新しい職業をそこに誘致することによって、やはり人口増、若い人が住みやすいまちづくりになるのではないかと思います。

けやき通りも長くなって2キロか3キロになると思いますが、ずっと散歩するだけでは全然面白くない。要所要所に何か自分が欲しいなというものがある。そんなまちづくりがあればと私は思っております。

多分、皆さんはまちづくりに美容かという思いがあるでしょうが、案外ちょっと真剣になって考えてみてください。美容産業はすごく大きなものだと思います。センチュリーが成功しているかどうかは分かりませんが、センチュリーの中にも美容整形をするのがあるという話を聞いておりますので、朝倉市があそこの町はすごくいい、美容に関してすばらしいというような口コミが伝われば、ここに人は寄ってくると私は思っております。

それで、何とかそこら辺も美容学校やほかのところと取りながら、同じようなお祭りではなく何か視点を変えたあさくら祭りにするとか、コミュニティの何かそういうことにするのも考えられるのではないかと私は思っております。

けやき通りを歩きます。市役所通りに行きます。そして甘木公園へとつながります。これはすばらしいことだと思うんですよ。まずは距離を、はい、ここで1キロです。2キロです。3キロですというあれは何て言うのかな、あれを作れば、フルマラソンコースはこれからこれまで歩けばフルマラソンコースができるとか、5キロのマラソンに出るのにはここからここまでを走ればいいのか、それから甘木公園は大平山とつながっておりますのでトレッキングコースを造ることもできると思います。

甘木公園は何か足りないんですよ。第一に見晴らしが悪い。何かこっちからこう見ても山があつたりときれいなんですよ。あれは丸山池というのかな、丸山池ですよ。丸山池もあって、橋があって、あれだけ桜がきれい、モミジもきれい、そしてツツジもきれい、それなのにまだ何か足りない。副市長、聞かれましたよね。花いっぱいではなかったか。何

だったか。（発言する者あり）それぞれ、それにするためには何かが足りないのよ。

もっと例えば、あの人は何という人だったか、（「石原さん」と呼ぶ者あり）石原さんか、石原さんはこう言った。斜面に花を植えるといいですよと、でも石原さんはアジサイと言われた。私はアジサイは手入れがすごく必要ではないかなと、伸びるし、花が咲いたら切らないといけないし、でもあの一面に、あの芝生広場ののり面に花がいっぱい咲けばすばらしいと思う。

さっき美容の話をしましたけど、石原さんが言うのにはフラワー何とかと言われたが、それをすると30万人ぐらい集まると、だからもっと考えて、あそこを屋台ばかりの市民祭りではなくて、花のイベントとして、あそこ一体に朝倉は花の産地だから、あれでがんがんフラワーイベントをして、一緒にそういうことも考えないといけないと思う。

彼が言ったのは30万人の人が寄ると、5倍寄ると言った。クリスマスマーケットの5倍の人が寄ると、私は1回ヨーロッパのクリスマスマーケットに行ったけど、それはすごかった。それはそれはすごいマーケットだったんですが、その5倍の人がフラワーショーには寄ってくるということは、もっと甘木公園は何かしないといけない。あれはもったいない。宝の持ち腐れのような気がする。

ちょっと何か日陰が多い。山があって何か見晴らしが悪い。大濠公園とかと比べると。大濠公園が2.何キロやったと思う。よくあそこでマラソン大会があるんですが、1周走ってきて2.何キロ、5キロだったら2周走ってくればいいのか、そんなふうに、甘木公園は何か上ったり下ったりもあるしちょっと走りにくいけれど、あれはあれで好きな人はいいと思うけれど、何かもうちょっとこう開けて甘木公園全体を見つめて、すばらしい公園やねと思うような甘木公園になってほしいと思うから、もう一つは甘木中学校の横の多目的広場、あそこももうちょっと広げれば運動もできるし、見晴らしもよくなると思うけれど、何かあれはあれで終わってしまって、照明もない、水道もない、トイレもない、何かちょっと私ばかりしゃべっているけど、どう思いますか。甘木公園をどう思っていますか。私ばかりしゃべったら一番面白くないから、どうぞ思いを。

○議長（小島清人君） 都市建設部長。

○都市建設部長（井上政司君） 甘木公園を花いっぱいにしたいなという議員の思いですが、私ども維持管理をするほうからしても、やはり花壇はたくさんあるんですけれども花のない時期が多かったりとか、ちょっと寂しいなと思うような、そういったことは感じております。

ただ、やはり常に花のある公園にするためには、それなりの体制を整えていく必要があるということもございます。

今現在、甘木公園は特にボランティアの方でいろんな取組をいただいております。サクラいっぱい事業でありましたり、あと甘木公園を美しくする会による清掃作業、それから市民や企業等によるボランティア活動が行われておりまして、やはり甘木公園に愛着

を感じる市民や企業の方も年々増加しているのではなかろうかと思っております。

こういったことから、何かが足りないというふうなことですけれども、市のほうとしましても、これから甘木公園を将来どういった姿にするのかというふうなランドデザインといったものはやはり考えたいなというふうに思っているところです。

そういったところで、市民の皆さんから愛されて、市内外からより多くの方が来訪していただけるような公園にできればというふうに思っているところでございます。

○議長（小島清人君） 14番柴山議員。

○14番（柴山恭子君） 甘木公園を愛する会にも入っておりますし、桜の花植えにも行きますし、甘木公園は大好きですし、でも足りない。あのままでは駄目。あのままでは惜しい。あの公園が。今、言われた花を植えるには人手がかかると、人手がかからないような研究を何でしないのだろうかと思う。

あそこは、例えば芝生広場ののり面いっぱい、私で言えばカタバミという花があります。これは雑草のような花で黄色とピンクと白と、そしてある程度、高さも伸びます。多分、カタバミは武家の家紋にもなるような花です。何でカタバミが花紋にもなるかと言うたら、踏まれても踏まれても枯れないからですよ。たくましい。

だって本気で甘木公園を何とかしたいと思うなら、こういうものがないのではないかと、こうしたらどうかとか、どこかの公園を見に行って、こんなやり方でお金もかからないでいろんなことができるかという、そんな考え方必要と思います。

この前に建設経済で行ったんですよ。そこは木の上を歩く。想像がつかないよね。池田町というところだった。木の上を歩くとか、山の上から下まで一点何キロ、あれはメガジップラインと言っていた。それで降りてくるとか。

やっぱり本気でやろうと思えば、だから本気ではないということよ。あの甘木公園は立派な公園だから、まあいいんではないかと、桜も時々植え替えながら、時々ボランティアが来て、それから毎日ボランティアが来て掃除をしたりいろんなことをしてくれる。それで十分だろうと思っていないですか。

○議長（小島清人君） 都市建設部長。

○都市建設部長（井上政司君） 先ほどの花いっぱいにしたいという公園をどうすればいいかという、ちょっと私の説明のほうで漏れていたところもございますけれども、やはり住民の方のお力も借りながら、そういった仕組みづくりが重要なかなというふうには思っております。

今現在、福岡県が、この前、公園にも行かれたということで、花による美しいまちづくりというものに取り組んでおります。これにつきましては地域住民や企業が主体となって花壇の整備とか管理を行うパートナー花壇制度というものがございまして、そういったものが推進されております。これが継続的な花づくりの一つのモデルとなっております。

この制度につきましては地域の主体性を高める効果が期待できることから、甘木公園に

おいても導入が可能かというところをぜひ考えていきたいというふうに思っております。

こうした県の取組も参考にしながら、市民団体、企業と連携した協働の体制づくりについて研究を進めながら、甘木公園が市民により愛される公園となるように考えていきたいなというふうに思っているところです。

○議長（小島清人君） 14番柴山議員。

○14番（柴山恭子君） 研究は進めなくていい。まずはやってみたらどうか。私は前から言っているよ。こっちの池のこっち側に青いしゅつとした花は何と言うかな、（「ショウブ」と呼ぶ者あり）ショウブね。皆さん、ありがとうございますね。ショウブは何でいつもあれだけほったらかしにしておくのかと、あそこを何とかするなら私たちはボランティアで何とかしましょうと前から言っているのに、ショウブは大変ですもんね、上から歩けず、とうとう、何ですかあその菖蒲園は。何か知らない外来の雑草がはびこってしまって、あの雑草を踏むとあの雑草の種をあちこちにまき散らすというような、そんな雑草の花壇になっているではないですか。

調査、研究は必要ありません。まず何かからやってみる。それが大事なことだと思いますが、どうですか。

○議長（小島清人君） 都市建設部長。

○都市建設部長（井上政司君） できることからやっていくということなんですけれども、それが何かというところなんですけれども、やはり先ほど言いましたように地域の住民の皆さんを巻き込んでやっていけるような、そこを考えたいと。

そこからというところと、先ほど申しましたように今ある施設をやはり有効に活用できるような、そういったところも進めていきたいと思っております。

○議長（小島清人君） 14番柴山議員。

○14番（柴山恭子君） どうやって住民を巻き込みますか。どうやって住民を巻き込もうと思っておりますか。今ある施設を有効に利用しながらというのは、どこのかを示してそう言うてありますか。

○議長（小島清人君） 都市建設部長。

○都市建設部長（井上政司君） 先ほど申しましたように、甘木公園には花壇がたくさんあるけど、やはりちょっとそこが有効に活用できない。そういったところにつきまして、やはり今現在行っただいておりますボランティアの皆さんとか地域の方にお声かけをしながら、そこを何とか市としても持続的に花がいつも咲き乱れるような公園となるようなところで考えていければというふうに思っております。

○議長（小島清人君） 14番柴山議員。

○14番（柴山恭子君） 何年先に実現しますか。

○議長（小島清人君） 都市建設部長。

○都市建設部長（井上政司君） 今ここで明確なお約束はなかなかできませんけれども、

とにかく一生懸命やっていきたいというふうに思います。

○議長（小島清人君） 14番柴山議員。

○14番（柴山恭子君） 一生懸命なら私でも言い切れる。私も一生懸命、頑張っています。でも計画的にいかないことには、これは前に進まない。だからちょっと言ってよ。どのぐらいで進めていきたいというのを。一生懸命やっていくというのは誰でも言い切れるし、私も言い切れるし、桜を守る会にしても、ほかの毎日毎日あそこを掃除に来てくれるボランティアの皆さんに対しても非常に頭が下がりますよ。だからもっと積極的にあそこを活用して、住民の皆さんが来てくれるような甘木公園にしてほしいと思いますし、あそこの遊具が新しくなったときに、すごく多い子どもたちがすごく大きいんですね。私は芝生広場ののり面に花をいっぱい植えることとともに、あそこに少し大きい中学生、高校生、大人でも遊べるような遊具があればなとも思っておりますが、どう考えますか。

○議長（小島清人君） 都市建設部長。

○都市建設部長（井上政司君） まず、芝生広場の斜面に花が植えられないのかと、結構あそこは斜面も急勾配でございますし、あと雨のときにやはり山から多量の水が流れてくるような場所でもありますので、その辺はそういうことができるのかというのは十分な検証が必要なのかなというふうに思います。

あと、芝生広場に大人から子どもまでが楽しめるような大きな遊具が必要ではないのかというようなことなんですけれども、この芝生広場につきましては、今現在、御家族でのピクニックであったりとか、あと保育所や小学校などの遠足、それからグラウンドゴルフというものをされて、非常に多くの方が利用されております。

誰もがやはり心地よく快適に利用できる広々とした開放的な空間そのものがやはりこの芝生広場の大きな魅力であり、この広さと自由度というものが多様な利用につながっているというふうに考えております。

確かに目玉となるような施設というのは必要な部分かもしれませんが、この芝生広場への設置というのは、今のところはこちらとしては考えてはいないところでございます。

○議長（小島清人君） 14番柴山議員。

○14番（柴山恭子君） あれだけ広い芝生です。私もよく存じていますよ。よく行きますし、私はあそこから大平山に登りますので。ピクニックもできる。それから子どもたちがサッカーもしている。いろんなことは知っておりますが、もう一步、目玉となるものが甘木公園に欲しいと私は思いましたので、ちょっと提案してみました。ちょっとこれは考えてみてください。よろしくお願いします。

あと5分となりましたので、途中半に戻って美容についてもう一回お願いしたいことがあります。これほど皆さんが美容に興味を持っているということを私はお知らせしました。皆さんは答弁から考えると全く御存じはなかったけれど、それほど皆さんには要望がある

ということをお知らせしました。

今後、朝倉の市民祭りとかいろいろな場面で今までのような同じことではなく、もう一歩進んで違うブースなどもあれば、もう一つはコミュニティの参加も必要と思っておりますので、そういうことに対してもう一度考えてみてもらえないでしょうか。

美容ということに関して、美容というのは髪の毛ではなくて、私は美容にあまり興味がないからあれだけど、それはそれはみんなこういうことを使ったらいいとか、いろんなことを言いますので、専門学校の生徒とかとコラボしていろんなことがこの朝倉市でできれば、何かちょっと違ったまちづくりがまたできるのではないかと思いますので、けやき通りのまちづくりにそういうカフェとか、それから美容とか、いろんな若者たちのお店を出店していただく、そういうことも大事だと思います。

何せずっと歩いて通るのではなくて、寄って寄って寄って、歩きながらあそこの店に寄りたい、あそこのおいしいコーヒーが飲みたいとか、おいしいケーキが食べたいとか、そういうふうなまちづくりをけやき通りでやればと思っておりますので、何かどうですかね、部長。部長にばかり答えさせて申し訳ないけれど、頑張りますと言ってください。

○議長（小島清人君） 都市建設部長。

○都市建設部長（井上政司君） あの通りに美容といったものが目玉となるような通りにしたいということで、そこに人も寄ってくるであろうということです。

やはり何でもそうなんですけれども、今回、御提案の若者が集まるカフェであったり美容スポット、やはりそういった施設が長く持続していくためには地域で主体的に活動できる人というのが重要なのかなというふうに思います。

また、空き地であったり空き店舗といった地域資源の有効活用を進めることというのも重要であるというふうに思っております。

先ほども言いましたように、今現在、まちづくり学校ということで人材育成もしておりますので、そういったところも活用しながら人材育成と、やはりどこでどういった事業ができるのかと、まずはそこから入り込んでいければというふうに思っているところでございます。

○議長（小島清人君） 14番柴山議員。

○14番（柴山恭子君） 実は私は足が巻き爪なんです。だから強い運動とかをすると爪が中に食い込んでしまって、なかなかできないんですね。それで美容整形が巻き爪の治療をしてくれるんですね。爪と爪の間にワイヤーを入れて、こう押し上げる。すると爪が1か月か2か月かするとぐっと上がってくると、上がってくるかどうかは知らないけど、まだ初めて1週間ぐらいです。そこに来る女性と男性の多さ、そこは美容、シミを取るとか、肌をきれいにするとかという病院なんです、いっぱい。だからそれほど興味があるということです。

私はあそこの病院に通って爪をするときに、こんなにみんな来るんだと、男性もいるか

らびっくりしましたが、その辺を考えて今後のまちづくりに生かしていただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

ごめんなさいね。いつものようにがんがん言って。お疲れでした。ありがとうございます。これをもって一般質問を終わらせていただきます。

○議長（小島清人君） 14番柴山恭子議員の質問は終わりました。

以上で、本日の日程は全部終了いたしました。

次の本会議は明日3日午前10時から行い、一般質問を続行いたします。

本日はこれにて散会いたします。お疲れさまでした。

午後4時15分散会